

『地域に役立つ公園づくり』について

北九州市 建設局 公園緑地部

みどり・公園整備課

地域に役立つ公園づくり事業（1）

「地域に役立つ公園づくり事業」を実施しています（H20～）

小学校区内にある身近な公園を複数まとめて、地元の皆さんと協働で開催するワークショップで再整備計画案づくりを行うものです。

・ワークショップを開催する校区はどうやって選ぶの？

- ① 老朽化した身近な公園が、複数あること（概ね30年以上経過）
- ② 公園愛護会結成率が高いこと（結成を確約も可）
- ③ まちづくり協議会等の地元組織が活発であること

（ワークショップは、地元組織と協働で開催するため）

などを参考に、各区間のバランス等を考慮して選定します



計画段階から地域の皆さんが参加することで、公園への愛着を高め、地域活動など公園利用の活性化につなげたいと考えています。

そして、計画策定後は、翌年から概ね2ヵ年で再整備を行います。

地域に役立つ公園づくり事業（2）

・ワークショップはどんな風にすすめるの？

原則として、全5回を、夏頃から約半年間かけて開催します。

資料の準備、会場設営やワークショップの進行役等は、市が委託した公園設計コンサルタントが担います。校区内にお住まいの方なら誰でも参加OK！



・ワークショップの内容は、どうやって知ることができるの？

ワークショップに参加いただくのが一番ですが、このほか「かわら版」を作成して、市政だよりとともに各家庭にお配りしています。※全3回（第1回目WSの開催後、第3回WSの開催後、全WS完了後）

ワークショップの翌年度から約2ヵ年

地域に役立つ公園づくり事業（3）

ワークショップ風景

・どんな計画をつくるの？

校区内にある、身近な公園それぞれの再整備計画案を、複数まとめて対象にして、「地域における役割」などを考えながら、話し合いでつくりま

〇〇公園は、
地域行事の拠点
公園にしよう



▲▲公園は、
健康づくりの公園
にしよう

★★公園に
走り回って遊べる
広場がほしいな



イメージ図



地域に役立つ公園づくり事業（４）

主な整備事例 ①

■遊具広場のリニューアル



<整備前>



<整備後>

守恒東公園(小倉南区)



<整備前>



<整備後>

畠田一丁目中公園(若松区)



地域に役立つ公園づくり事業（5）

主な整備事例 ②

■見通しの確保、園路整備

<整備前>



<整備後>



■入口の バリアフリー化



■花壇の整備



■健康器具 の整備



このほか、新しい施設を整備するだけでなく、公園の慢性的な悩みを解決するよい機会でもあります。

例えば、・樹木の整理をして見通しをよくしたい、・広場の排水が悪いので、舗装をやり直したい などなど

■ワークショップ風景



【最初の説明】



【グループで話し合い中①】



【グループで話し合い中②】



【現地見学①】